

## 令和7年度の新たな取り組みについて

### [取組み1] 外国籍世帯通訳同行支援

- ① こども家庭センターが実施する支援として、要支援家庭の外国籍世帯を対象に、通訳アプリでは対応が難しく、より丁寧な対応が必要と判断した世帯へ通訳同行者を派遣する。
- ② 健康部37回、子ども家庭部36回の計73回の派遣要請及び報償費支払い業務等を子ども家庭支援センターで行う。



#### ■ 令和7年度実績（令和8年1月末時点）

単位：件

	健康推進課	長崎健康 相談所	子ども家庭 支援センター	合計
ネパール語	7	2	8	17
中国語	6	5	2	13
ミャンマー語	9	0	2	11
英語	5	0	1	6
ベトナム語	2	0	1	3
ベンガル語	3	0	0	3
韓国語	0	0	1	1
ウズベク語	0	0	1	1
タイ語	1	0	0	1
合計	33	7	16	56

※別途、当日キャンセル2件あり（支払い発生）

### [取組み2] 産後ドゥーラ利用助成事業拡充

- ① 産後ドゥーラ派遣対象を、現在の要支援家庭・ひとり親・多胎児の家庭から全世帯へ拡充する。
- ② 利用者の状況・状態を見極め、産後ドゥーラ利用の適正化を図る。

#### ■ 令和7年度実績（令和8年1月末時点）

	令和6年度	令和7年度（～1月末）
産後ドゥーラ派遣件数(件)	16	298
産後ドゥーラ利用時間数(時間)	58	847